

この決定は社民仙北支部内に於いても執行委員会。決議を無視せるものとの議論を起したのであるが我党では一月十五日の緊急常任委員会の席上に於て次の対策を立てた。

一 我党は先づ口約並に執行委員会の決議を無視し、單獨にて候補者を決定せんとする恐あるを以て、この際正式に選挙対策共同委員会開催を提唱する事。交渉委員仙北支部へ野副、仙台支部へ多田君。

二 武内君高橋君をして仙北支部各班を巡り師君の独断的なるこの行動に對する反感を昂めて師君除名にまで達せしめ、且つ各班より師君のこの独断的決議無視行為決定に對する反対声明書を出さしめ、且つ執行委員会を閉鎖し、めつてこれに反対せしめ、共同委員会で一切をきめる様に決議せしめる様備をかけた。

三 但しこれは表面に現はれる程充分には行はれなかつた。

四 一月十九日社民党仙北支部執行委員会が開かれた。師君の決定は討論通り反對されたが固執した者は大友君のみなり、高又反對者（及我党）側に候補者を用換出の点に對する腹案をかりし為、二時間の激論の後ついに師君の專巧に説得された。

五 更にこの会ではこの選挙戦には労働党の戰鬥力を利用する為共同委員会に参加する事が決定された。

六 二月十日我党事務所に於て共同委員会に關する正式な協議会が開かれ、我党及社民党仙北支部、仙台支部の代表出席し左の決定を見た。

一 選挙戦は共同で戦ふこと。

口廿五日第一回の共同委員会を開く事。
八候補者は正式に共同委員会に決定する事。此点に就ては前述の如く社民党側では赤松君と決定してゐた。
三費用は一切社民党側より出す事。
本丹士は共同で出す事。

一月廿一日議會解散せらるゝや、同日我党は
資本家地主の守憲既成政党を倒せ！
統一戦線萬歳！
労働政党合同萬歳！

のスローガンをもつ声明書を發表し、今回の戦は民衆党の候補者を立て、共同陣営により之を遂行す旨を表明した。

又同日各支部に對して廿五日に集合すべき指令を傳達し、又我党及日本農民組合宮城縣聯合会は各支部に對して資金募集の共同指令を發した。

更にこの間我党常任委員会は随時開かれ、我党の態度を決定し、各支部委員長に對しては共同陣営の意義の徹底に努めた。例へば廿三日宮城郡支部總會に於ては、但しこれは特殊的な人手不足其他により極めて不完全なものを免れなかつた。

一月廿五日仙台市東洋軒に於て正式共同委員会開かれ、労働党（並に日農）側より各支部代表三十名、社民党より二十名出席、我党より各十名の代表を出